武蔵野美術大学

プレスリリース

2026 年 11 月 9 日

各位

【武蔵野美術大学】社会とともに生まれる研究・実践の成果を公開
「Ichigaya Innovation Days 2026～学びをほぐす～」
トークセッション当日のタイムテーブルを公開

武蔵野美術大学（所在地：東京都小平市、学長：樺山　祐和）が運営する武蔵野美術大学ソーシャルクリエイティブ研究所（以下「RCSC」）は、「Ichigaya Innovation Days 2026～学びをほぐす～」（以下「本イベント」）を 2026 年 11 月 14 日（土）～15 日（日）に武蔵野美術大学市ヶ谷キャンパスで開催します。11 月 15 日には、『問いのデザイン』などの著者で、組織と創造性の研究・実践に取り組む安斎勇樹氏を迎えた基調講演を開催します。

美術大学における「学び」は、教室の中だけで完結するものではありません。地域、企業、行政との共同研究や社会実践のなかで、研究者、学生、実務者、市民が互いに学び合い、新たな知や価値が生まれています。今回で 3 回目となる本イベントでは、「学びをほぐす」をテーマに、教育／研究、大学／社会、教える／学ぶといった既存の境界を捉え直します。多様な共同研究・実践事例を通じて、社会の中で生成され、変化し続ける「学び」のあり方を問いかけます。

この度、11 月 15 日に行われるトークセッションのタイムテーブルを公開しました。当日、どのセッションからでもご参加いただけます。ぜひこの機会にお申し込みください。



【概要】

■日程：

2026 年 11 月 14 日（土）10:00-18:00　※展示のみ

2026 年 11 月 15 日（日）10:00-18:00　※展示・トークセッション（終了後、懇親会開催予定）

■会場：武蔵野美術大学 市ヶ谷キャンパス（東京都新宿区市谷田町 1-4）

■Web サイト：https://rcsc.musabi.ac.jp/2026/10/ichigaya-innovation-days-2026/

■参加費：無料（懇親会参加費：一般の方／2,000 円、学生の方／1,000 円）

■参加方法：下記 Peatix より事前申込をお願いいたします。　※11 月 15 日の参加チケットをお申込いただきますと、当日のトークセッションをすべて聴講いただけます。

URL： https://peatix.com/event/5169207

■主催：武蔵野美術大学ソーシャルクリエイティブ研究所

【本イベントの内容】

1．多彩な研究成果を発表する展覧会／ポスターセッション（地下 2 階・5 階）

RCSC における共同研究成果展示と、RCSC 連携研究員による研究成果のパネル展示を行います。

展示期間：11 月 14 日（土）～15 日（日）　10:00-18:00

連携研究員によるポスターセッション：11 月 15 日（日）12:00-13:30

〈展示・発表予定のタイトル一覧〉

・映像学科授業『学部 1 年 イメージエフェクト』成果発表
・ディスレクシアから読みやすさの多様性へ
・「学びのデザイン」から「学ばさるのデザイン」へ
・プライバシーは教えられるのか？
・まちづくりビジョンのためのランブリングデザインリサーチ
・Nature Positive Living Lab.のデザイン
・神社とアートによる地域デザインの可能性について
・未来創発・未来対話をコアとした市民エンパワーメントのデザイン
・「私」の手直し
・往復、脱色、やってくる：「手間」の創造性を探求するアート・リサーチの実践
・映像で社会課題を可視化する
・身体記憶を起点とした RitualDesign の方法論的検討
・Living Pattern Language はどう生まれるか？
・渋谷三丁目の心理地理学的地図をつくる
・経営に、デザインという視点を。　― 中小企業から考える、創造性を育む組織デザイン ―
・制約によって顕在化する創造性と相互理解
・家具としてのピアノ　アール・ヌーヴォーとアール・デコを中心に
・都市計画マスタープランにおける視覚的コミュニケーション
・民主的表現行為としての都市キュレーション 身体的経験を伴う写真行為から
・民主的表現行為としての都市キュレーション 雰囲気的知覚とエスノグラフィーから

2．有識者やパートナーを交えたトークセッション（5 階）

「学びをほぐす」をテーマに、ゲストを迎えた基調講演とともに、RCSC における研究成果について紹介

します。

日時：11 月 15 日（日）10:00-17:30

●基調講演／パネルディスカッション（10:00-）

基調講演「学びをほぐす――問いと創造性から考えるこれからの学び」



ゲスト：安斎勇樹

株式会社 MIMIGURI 代表取締役 Co-CEO

東京大学大学院 情報学環 客員研究員

1985 年生まれ。東京都出身。東京大学工学部卒業、東京大学大学院学際情報学府博士課程修了。博士（学際情報学）。人の創造性を活かした新しい組織・キャリア論について探究している。主な著書に『静かな時間の使い方』『冒険する組織のつくりかた』『問いのデザイン』『新 問いかけの作法』『ルールのデザイン』などがある。Voicy『安斎勇樹の冒険のヒント』放送中。

●トークセッション（13:30-）

〈発表予定の研究テーマ〉

13:30　未来創発・未来対話をコアとした市民エンパワーメントのデザイン

岩嵜博論（武蔵野美術大学）　×　八幡晃久（株式会社日本総合研究所）

13:50　「学びのデザイン」から「学ばさるのデザイン」へ ―学びのデザインプロジェクトの 4 年間

長谷川敦士（武蔵野美術大学）

14:15　コンヴィヴィアルな学びのデザイン～表現と対話の可能性～

若杉浩一（武蔵野美術大学）　×　井上岳一（株式会社日本総合研究所）

15:15　Nature Positive Living Lab.のデザイン-伊豆大島での実践を通して

丸山幸伸（武蔵野美術大学）　×　稲田晋司（株式会社フロンティアコンサルティング）

15:35　琵琶湖×モア・ザン・ヒューマン・アプローチ

岩嵜博論（武蔵野美術大学）

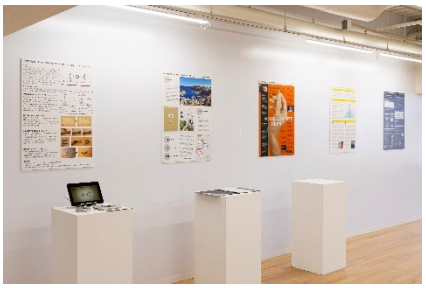
16:00　ディスレクシアから読みやすさの多様性へ　—MyType プロジェクト
長谷川敦士（武蔵野美術大学）

16:20　プライバシーは教えられるのか？　—問いと対話を生み出すゲームのデザイン
長谷川敦士（武蔵野美術大学）

16:45　神社とアートによる地域デザインの可能性について
井口博美（武蔵野美術大学）　×　石川卓磨（武蔵野美術大学）

17:05　リチュアルデザイン研究会
岩嵜博論（武蔵野美術大学）　×　リチュアルデザイン研究会メンバー
＊各トークセッションの最新情報および詳細は以下をご覧ください。
URL：https://rcsc.musabi.ac.jp/2026/10/ichigaya-innovation-days-2026/





（2025 年度の Ichigaya Innovation Days の様子）

3. 懇親会（7 階 Co-Creation Space -Ma-）

本学 7 階 Co-Creation Space -Ma-にて、どなたでもご参加いただける懇親会を開催します。トークセッションの登壇者、本学の関係者と交流することができます。
日時：11 月 15 日（日）18:00-（トークセッション終了後）
会費：一般の方／2,000 円、学生の方／1,000 円
（参加人数に限りがございます。上限に達し次第、受付終了となりますので予めご了承ください。）

武蔵野美術大学市ヶ谷キャンパスについて

市ヶ谷キャンパスは 2019 年 4 月に開設され、従来の「美術大学」という言葉にまつわる固定的イメージを打ち破り、新たなかたちで実践的に示す場所とし、建物全体を実験的共創スペースと位置付けています。造形構想学部クリエイティブイノベーション学科、大学院クリエイティブリーダーシップコースのキャンパスとしての利用の他、造形から育まれる「創造的思考力」を実社会の課題解決に応用した新しい価値づくりを目的とした良品計画との共創スペース「MUJIcom 武蔵野美術大学市ヶ谷キャンパス」、社会問題の解決や新たな人類価値の創出を目的としたソーシャルクリエイティブ研究所（RCSC）を設置するなど、「教育」「研究」「コミュニティ」の 3 つの機能を兼ね備えた価値構築を行っています。

ソーシャルクリエイティブ研究所（RCSC）について

激しい環境の変化や未来が予測しづらい現代が抱える課題を、研究所が企業、地域、行政、教育の壁を超え、領域横断的に取り組み、ビジョンとプロトタイプを研究提案することで、社会問題の解決や新たな価値を創出することを目的として設立された研究機関です。

ソーシャルクリエイティブ研究所 web サイト：https://rcsc.musabi.ac.jp/

武蔵野美術大学について

Musashino
Art
University
1929-2029
100th
美はつづく。

本学創立 100 周年事業シンボルマーク・コンセプトワード

2029年に100周年を迎える武蔵野美術大学は、1929年に創立された「帝国美術学校」を前身とし、「教養を有する美術家養成」「真に人間的自由に達するような美術教育」を教育理念に掲げ、幅広い教養と人間性を有する造形各分野の専門家を養成し、文化の創造発展と社会貢献に寄与してきました。

造形学部と造形構想学部の2学部に、絵画、彫刻からデザイン、建築、映像、芸術文化、そして社会イノベーションまで、美術・デザインの広がりに対応する12学科を有し、大学院には造形研究科、造形構想研究科を設置しています。また70年以上の実績を持つ通信教育課程も設けています。日本を代表する美術・デザイン大学として、これまで社会に輩出した卒業生は7万7,000人に上ります。

造形活動を通じて身に付く、正解のない「問い」をたて、探求し、答えを表現する能力は、今の時代にこそ最も必要とされています。卒業生は美術家、デザイナー、建築家、映像作家など、造形各分野の専門家として活躍するとともに、培った創造性、コミュニケーション能力が高く評価され、多くの業界で日本及び世界有数の企業へ就職し、重要な役割を担っています。

武蔵野美術大学 web サイト：https://www.musabi.ac.jp/

〈本件に関するお問い合わせ先〉
武蔵野美術大学　市ヶ谷キャンパス事務室
ichigaya_campus@musabi.ac.jp